

強皮症様皮膚硬化

パクリタキセル



39歳，女．2006年12月に左乳癌stageⅣ（肺転移）．
2007年1～7月に内分泌療法．2007年9月よりパクリタキセル・ベバシズマブ併用療法を行うも2008年8月より手指の浮腫性硬化と微熱を自覚し，

Raynaud現象も認めた．手指はソーセージ様に腫脹し屈曲拘縮を伴う（上）．足背から下腿にかけても皮膚硬化がみられた（下）．

（東 祥子ほか：皮膚病診療 32：887, 2010）